

## 視覚障害者の役に立ちたいと活動する 朗読ボランティアグループかざぐるま

### 活動を継続して32年

視覚障害者の役に立ちたいと、出前朗読からスタートした「朗読ボランティアグループかざぐるま」（以降「同会」と略します）は、1986(S61)年に発足してから32年が経過しました。（平成30年11月現在、会員は21名）

### 主な活動内容と地域事業協力

活動日時は、毎月第1・3土曜日の9時～16時30分（主に録音作業）、第4土曜日の10時～12時（「かざぐるま情報」の原稿整理、活動報告・連絡、会議等）行っています。

パソコンを使って「録音図書（CD）製作」を中心に、「出前朗読」「地域の福祉関連事業への協力」等を行っています。録音図書（CD）は、



▲ 3人一組での録音作業

- ①プライベートサービス（依頼者の要望に応じて）
- ②自主制作CD「かざぐるま情報」
- ③「弱問研つうしん」CD版等を製作して発送しています。

出前朗読では、依頼の個人や施設へ出向いて希望の文

書を対面で読んでいます。

また、中部身体障害者福祉会館主催の音声訳ボランティア講座（原則年2回）への協力やフェスティバルの参加・なかはら福祉健康まつりへ参加等、地域の福祉関連事業へ積極的に参加・協力しています。

### 利用者の声に 励まされ

利用者からの感謝の言葉や反応が何より嬉しいと同会会長の塩田道子さんは、話します。また、山歩きをしたり、詩作に取り組んだりする前向きな利用者から、元気をもらっていると副会長の稲垣雅子さんは話します。



▲ 笑顔の会員のみなさん

### 会員を募集しています

同会会員は、それぞれの特長を生かして、互いに協力しながら和やかな雰囲気の中で、活動しています。「表現読み」を学ぶ会員も多く、年に1回会員同士で聴き合う朗読発表会を催しています。

同会の活動に興味をお持ちの方は、お問い合わせください。見学も受付けています。

■ 問合せ 川崎市中部身体障害者福祉会館  
（活動時間のみ連絡可）TEL044-733-9675

## 豊かな心が育つことを願う 読み聞かせ ボランティアグループどんぐり

毎週水曜日15時～15時30分、プラザ橋の2階和室では、おはなし会を開催しています。おはなし会を担当するのは、「読み聞かせボランティアグループどんぐり」（以降「同会」と略します）のみなさんです。



▲ どんぐりのみなさん  
夏休み特別お話し会

同会は、プラザ橋ができた翌年1994(H6)年に設立して今年で24年目になります。子どもたちに「おはなしを通して豊かな心が育つことを願いながら楽しく」をモットーに活動を続けています。

### おはなし会を楽しみにする子どもたち



▲ 紙芝居「まほうのきょうそう」

訪れた11月21日のおはなし会では、季節にも考慮し、同会会員のみなさんが選んだ4冊の本「はっきょい どーん」「とつくんトラックもりへぶぶー」「ゆかしたのワニ」「はなたれこぞうさま」の読み聞かせと紙芝居「まほうのきょうそう」のおはなし会をしていました。

この日参加した子のカードのページにシールがいっぱいになったので、手作りメダルが贈られ、みんなから拍手をもらっていました。

### 年間の主な活動

同会の定例会は月1回開催し、おはなし会の担当や日程を調整しています。毎週水曜日のおはなし会の他に、次のような活動を行っています。



▲ 手作りメダル贈呈

- ・夏休み特別お話し会（年1回）8月に118人が参加
- ・プラザ橋祭り（年1回）紙芝居中心のおはなし会
- ・小学校（わくわくプラザ）おはなし会（毎月）
- ・保育園おはなし会（毎月）
- ・親子おはなし会（1～2歳対象）年3回
- ・介護施設おはなし会 年2回 等

同会代表の森豊子さんは、「本を読みながら子どもたちと一緒に楽しめることがとてもうれしい」また、都所さん・北原さんは、子どもたちの反応が良い時には、思わず「やったね!」と笑顔になると話します。

■ 問合せ プラザ橋（高津市民館橋分館・高津図書館橋分館） TEL 044-788-1531